第７７回福島県総合スポーツ大会会長あいさつ

第７７回福島県総合スポーツ大会

会　長　北村清士

　第７７回福島県総合スポーツ大会が、多数の選手・監督・役員の参加のもと、県内３０市町村において盛大に開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

　本大会は、スポーツを通して県民の生活をより明るく豊かにしようという趣旨のもと開催され、多くの県民から親しまれながら、これまで伝統を重ねてまいりました。また、県民総参加のスポーツ大会として、スポーツ精神の高揚に努め、健康増進と体力の向上並びに本県スポーツの振興・発展に寄与してまいりました。

さて、本県では、今年３月に「第１９回春の全国中学生ハンドボール選手権大会」を開催いたしました。第１回大会から富山県氷見市で開かれてきた伝統ある大会ですが、１月の能登半島地震の影響により福島県での代替開催となりました。東日本大震災と原発事故からの復興を進める中でいただいた御支援に対する感謝を込め、「スポーツの力を北陸の力に」とのスローガンのもと、関係する多くの方々に勇気と希望を与え、スポーツの持つ力を全国に発信することができました。

このような中、小学生から高齢者までの多くの参加者が、互いにスポーツへの多様な価値観を認め競い合う福島ならではの大会「県総スポ」を通じ、友情や親睦を深められることは意義深く、県全体に元気や笑顔を広めてくれるものと信じております。

選手の皆様におかれましては、フェアプレーの精神の則り、日頃鍛えた力と技を存分に発揮されますことを期待いたします。

　終わりに、大会の開催準備・運営に御尽力いただきました関係の皆様に心から感謝を申し上げ、あいさつといたします。